

## 7 . 堰と周辺地域との関わり



## 7.1 堰周辺の概況

### 7.1.1 堰周辺地域の概要

#### (1) 概要

加古川はその源を丹波、但馬、播磨の境界に連なる丹波市青垣町の粟鹿山(962m)に発し、遠阪川、葛野川、柏原川、牧山川、岩屋谷川等を合わせながら氷上低地、柏原盆地を南流し、丹波市山南町井原において、加古川水系の支川としては最大の流域面積を有する篠山川と合流する。さらに、その後、杉原川、野間川等を合わせ、西脇市と加東市との市界付近より国土交通大臣管理区間を流れて東条川、万願寺川、美嚢川等を合わせ、加古川市、高砂市の市界において播磨灘に注ぐ一級河川である。

その流域面積は、約 1,730km<sup>2</sup> で兵庫県内の 11 市 3 町を包含する。

加古川の河口から約 12km 上流にある加古川大堰は、洪水の安全な流下と利水補給を目的としており、堰及びその貯水池は加古川市内に位置している。



図 7.1-1 加古川大堰周辺の概況

(2) 人口

加古川市及び加古川大堰より下流で加古川を境界に加古川市と接している高砂市の人口及び世帯数は図7.1-2に示すとおりである。

加古川市、高砂市の人口は平成7年までは増加傾向であったが、平成7年以降は横這いとなっている。一方で、世帯数は現在においても増加傾向にあり、核家族化、一世帯当たり人員の減少が進行していると考えられる。

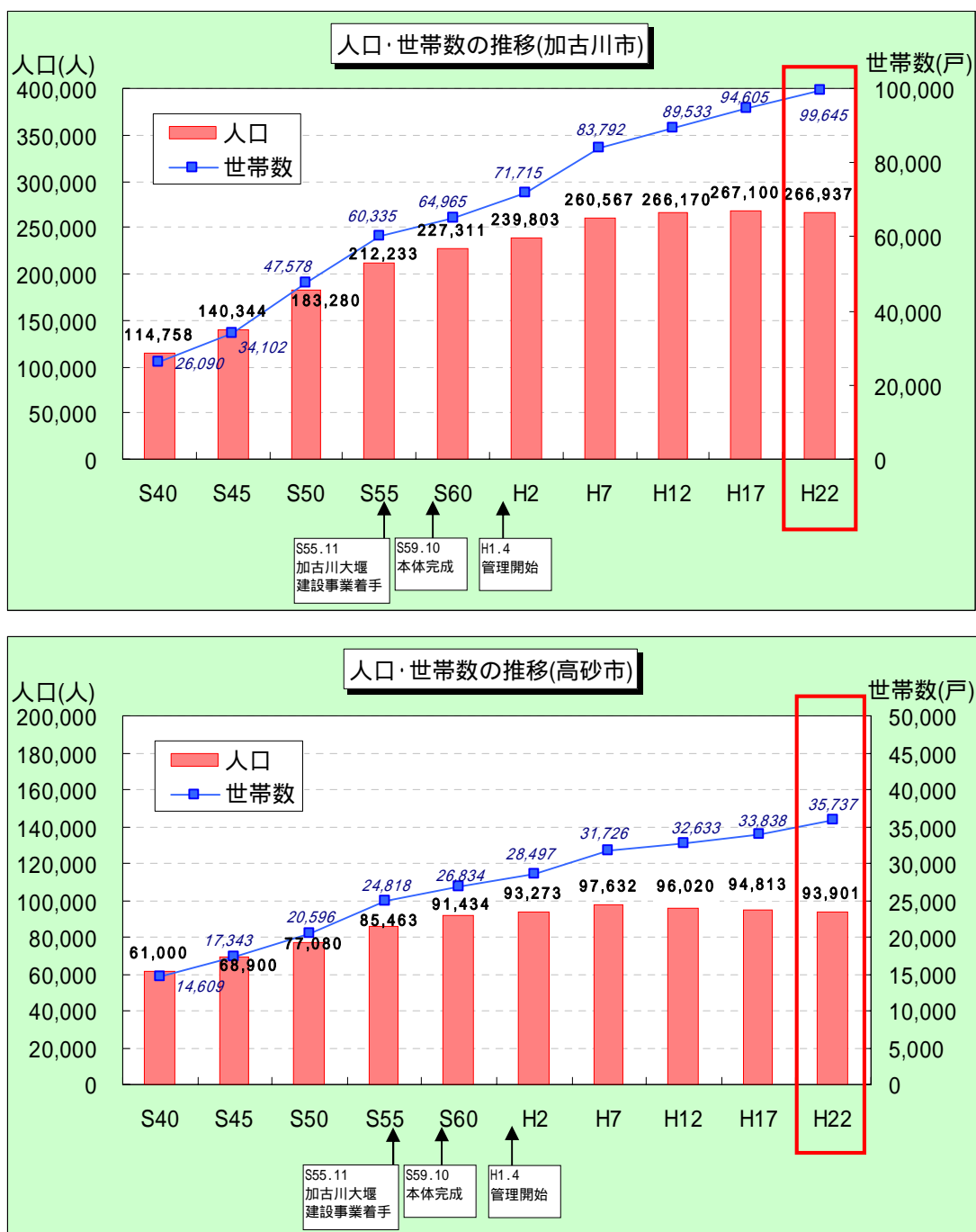


図7.1-2 加古川市、高砂市の人口及び世帯数の推移

(出典:資料7-1)

(3) 産業

加古川市、高砂市の産業別就業者人口の推移は、図 7.1-3 に示すとおりである。

就業者人口は両市とも平成 7 年をピークに減少傾向となっている。

産業別では、第 3 次産業の就業者人口が全体の 60%以上を占めるが、第 1 次産業は極端に少なく、加古川市で約 1%、高砂市では約 0.5%程度となっている。

加古川大堰から工業用水を補給している第 2 次産業については、管理開始以降も増加していたが平成 7 年をピークに平成 12 年、平成 17 年、平成 22 年と減少傾向となっている。

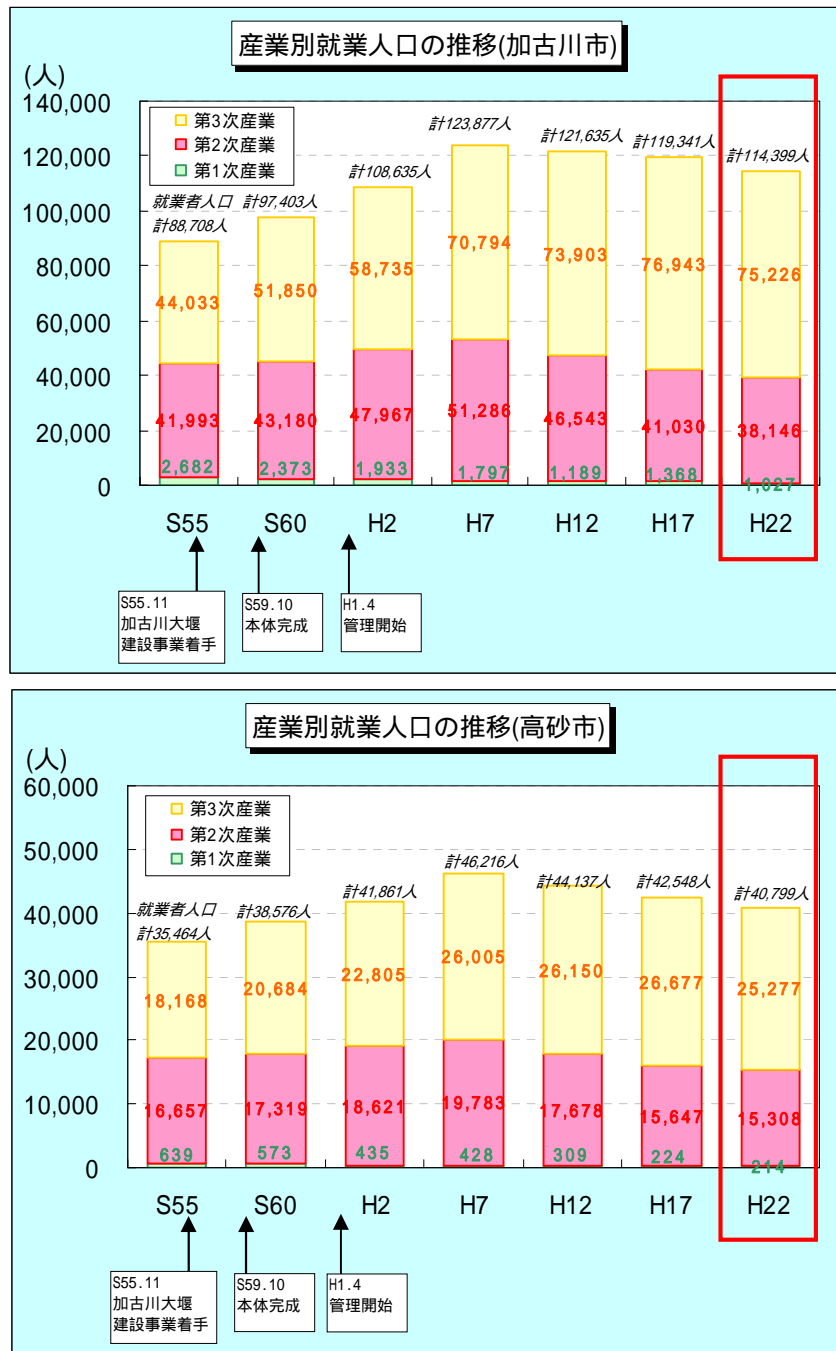


図 7.1-3 加古川市、高砂市の産業別就業者人口の推移

(出典:資料 7-1)



### 7.1.2 堰の立地特性

#### (1) アクセシビリティ

加古川市は、大阪市より 100km 圏内に位置し、神戸市街より西約 50km、姫路市街より東約 20km に位置する。加古川は加古川市のほぼ中心部を貫流する河川で、加古川大堰は河口から 12km の地点に位置している。

交通網は図 7.1-4 に示すとおりで、海岸線に平行し、鉄道、主要道路が通り、加古川沿いに主要道路や鉄道が通っている。

加古川大堰へのアクセスは、電車でのアクセスでは JR 加古川線「<sup>やくしん</sup>厄神」駅から約 1.5km、「<sup>かんの</sup>神野」駅から約 1.5km となっている。

自動車では、加古川バイパス加古川ランプより北へ約 8km、山陽自動車道「三木小野」インターチェンジより約 8km となっている。



図 7.1-4 加古川大堰周辺の交通網

(2) 周辺の観光施設(スポット)等の状況

加古川流域の観光スポット等については、表 7.1-1、図 7.1-5 に示すとおりである。

加古川大堰周辺では、加古川市内の「鶴林寺」、加古川河口部の「高砂海浜公園」などがある。

表 7.1-1 観光地等の概要

観光地等名称	所在地	概要
薬草薬樹公園	丹波市	園内には約 250 種類の薬草薬樹が栽培されています。オリジナルの薬草風呂、薬膳料理などを堪能できる。
みわか水分れ公園	丹波市	降った雨が日本海側と瀬戸内海側に分れ、両方で川を形成する特殊な場所。園内には「水分れ資料館」もある。
ガルテン八千代	多可町	フランス料理レストランを備えたレクリエーションエリア。各種スポーツや特産物の加工体験などができる。
五百羅漢	加西市	羅漢寺の境内には、様々な顔をした 400 体以上の石仏がひしめいている。いつ誰がなぜ制作したのか、全てが謎となっている。
滝野温泉ばかぼ	加東市	闘龍灘をイメージした浴室や、屋形船風呂、洞窟風呂など、趣向をこらした湯船を豊富に備えている。
高砂海浜公園	高砂町	白砂青松の高砂の浜を再現した公園。釣りや潮干狩り、人口島の散策などに四季を通じて多くの人々が訪れている。
かくりんじ鶴林寺	加古川市	聖徳太子ゆかりの太子堂は、国宝に指定された県下最古の木造建築。平安時代に描かれた壁画が発見されている。
浄土寺	小野市	堂内の阿弥陀三尊像は、鎌倉時代の有名な仏師、快慶の作。本堂、三尊像のいずれも国宝に指定されている。
グリーンピア三木	三木市	大規模な保養エリアには、レーザー気分が味わえるグランプリカートなど、多種多彩な設備がそろっている。
日本へそ公園	西脇市	日本の“へそ”(中心)に位置する公園。美術館、科学館などの知的アミューズメント施設がある。
春日神社	篠山市	春日神社境内に建てられた、全国屈指の野外能舞台。春の春日能をはじめ、年 3 回、雅びな能が演じられている。

(出典:資料 7-2)





図 7.1-5 加古川流域の観光地等の位置

(出典:資料 7-2)



## 7.2 堰事業と地域社会情勢の変遷

加古川大堰関連事業と地域社会情勢との変遷の概況は表 7.2-1 に示すとおりである。

加古川市の社会基盤整備は昭和 40 年代頃までに急速に進められ、加古川大堰の建設も昭和 50 年代より開始している。平成元年に加古川大堰が管理を開始してからは、貯水池を利用した漕艇利用(レガッタなど)や加古川河川敷を利用したイベント活動(マラソン大会など)も盛んに行われている。

表 7.2-1 加古川大堰事業と地域(加古川市)社会情勢の変遷

年	加古川大堰関連事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他
昭和 40 年 代まで	S25		6月 加古川市 市制施行
	S27		7月 豪雨による水害(床上・床下浸水 2,918 戸)
	S28	8月 第 1 回川まつり開催	4月 上水道の給水はじまる
	S33		4月 山陽本線、明石-姫路間電化開通
	S35		4月 上荘橋竣工
	S40		9月 台風 23 号襲来、災害救助法適用
	S41		7月 加古川工業用水道平荘湖竣工
	S42		1月 臨海部の埋め立てはじまる
	S43	3月 予備調査実施	
S45			3月 播磨国道(加古川バイパス)開通
S50 ~ 60 年代	S51		12月 加古川河川敷公園内のテニス、バレーコート開放 12月 第 1 回農業祭
	S54	2月 実施計画調査	
	S55	11月 工事用道路付替工事を開始	
	S56	3月 基本計画告示 11月 大堰本体工事着手	
	S59	10月 本体が概成する	
	S60	10月 美の川落差工築造工事の着手 11月 草谷川水門築造工事に着手	
	S61	11月 五ヶ井堰の撤去工事に着手	
S62	4月 試験湛水を開始		
平成元年 ~	H元	4月 加古川大堰管理開始 7月 竣工式	
	H2		2月 第 1 回加古川マラソン大会を開催 11月 第 1 回加古川ツデーマーチを開催 11月 第 1 回関西学生・加古川レガッタを開催
	H6		11月 ツデーマーチを日本マーチングリーグ公式大会として開催
	H7		8月 「全国川サミット in 加古川」を開催 1月 阪神・淡路大震災が発生
	H8		4月 加古川大堰右岸に加古川市立漕艇センターを開設
	H12		6月 ウェルネス都市を宣言
	H13		1月 2 世紀マラソンを開催
	H17		3月 JR 山陽本線等の加古川駅周辺の高架化が完成

平成 17 年以降も地域との交流活動等は継続的に実施されている。

平成 17 年以降に新規で実施されるようになったイベント等は特にない。

(出典:資料 7-3,7-4)

## 7.3 堰と地域の関わりに関する評価

### 7.3.1 地域における堰の位置づけに関する整理

#### (1) 加古川市総合計画(平成 23 年版)

平成 32 年を目標年次とした「加古川市総合計画」において、「ひと・まち・自然を大切にし、ともにはぐくむまちづくり」を基本理念に、将来に向けた加古川市の基本構想がまとめられている。

加古川大堰に関わる内容として、安全で良質な水道水の供給、加古川(河川敷や貯水池)のスポーツ・レクリエーション活動の推進が挙げられており、加古川及び加古川大堰が、今後の加古川市にとって重要な役割を担っていると考えられる。

#### 1)安全で良質な水道水の供給

加古川市内で、唯一加古川大堰から取水した水を水源として市内に水供給を行う「中西条浄水場」は、市内の給水量の約 8 割を担っており、水道施設の更新や耐震化など計画的な施設整備や効率的な事業経営を推進することで、安全で良好な水道水の供給をめざしている。以下は、加古川市総合計画からの抜粋である。

**5 安全で良質な水道水を供給する**

**まちづくりの指標**

指標名	数値	目標(平成17年度)
配水場の稼働率	20.7%	27.0%
配水場の設備更新率	10.0%	10.0%

**施策の展開**

- 水道施設の充実**
  - 浄水場や配水池、配水管などの計画的な整備・更新や耐震化を進め、水道施設の充実に努めます。
  - 漏水の早期発見に努めるとともに、その防止のための老朽管の掘削に取り組みます。
  - 小規模な漏水の削減を図るため、漏検器も拡大します。
- 水質の向上**
  - 浄水場や浄水の水質監視を強化し、検査体制の充実に努めます。
  - 地下水源の安全対策を進めるとともに、雨水貯留施設を導入します。
  - 配水池の水質の計画的な取り替えを実施します。
  - 流域の自然環境や関係機関と協力して、加古川水系の水環境の保全に努めます。
- 経営基盤の強化**
  - 民間委託や事業の効率化などを推進し、水道事業の健全な経営を図ります。
  - 利用者のニーズに対応したサービスの向上に努めます。

**基本方針**

計画的な施設整備や効率的な事業経営を推進し、安全で良質な水道水を安定的に供給します。

**現状と課題**

本市では、昭和25年の治水開始以来、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、浄水場や配水管などの水道施設の充実に努めました。また、利用者の利便性の向上に努めるとともに、民間委託の導入などにより水道事業の効率化にも取り組んでいます。

今後も、ライフラインの確保を図るため、老朽化しつつある水道施設の更新と耐震化を計画的に進める必要があります。また、水需要が減少する中で、より一層の効率化を図り、水道事業の経営基盤を強化していくことも課題です。

**主な事業**

上水道整備事業、中西条浄水場整備・更新事業、水源地整備・更新事業、配水池整備・更新事業、配水管整備事業

**関連する計画**

加古川市水道ビジョン2018

加古川市総合計画 p154 ~ 155  
 - 第2 編各論  
 - 第5 章快適に暮らせるまちをめざして  
 - 第2 節安全で快適な暮らしの基盤を整備する  
 - 5 安全で良質な水道水を供給するより

図 7.3-1 安全で良質な水道水の供給に関する計画(総合計画より転記)

(出典:資料 7-5)

## 2) スポーツ・レクリエーション活動の推進

「心豊かに暮らせるまちをめざして」の各論のうち、スポーツや文化・芸術の振興に関する計画において、加古川大堰周辺や貯水池が利用される「加古川ツーデーマーチ」、「加古川マラソン」、「加古川市民レガッタ」などのイベントの開催を通じ、市民の健康づくりや余暇活動の充実に努めていることが述べられている。

今後もスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進やスポーツ・レクリエーション施設の整備・活用が施策として掲げられており、加古川大堰は、今後も地域におけるスポーツ拠点として重要な役割を担い、憩いの場、交流の場として活用されることが期待されている。

以下は、加古川市総合計画からの抜粋である。



加古川市総合計画 p102～103  
- 第2 編各論  
- 第2 章心豊かに暮らせるまちをめざして  
- 第3 節スポーツや文化・芸術を振興する  
- 1 スポーツ・レクリエーション活動を推進する  
より

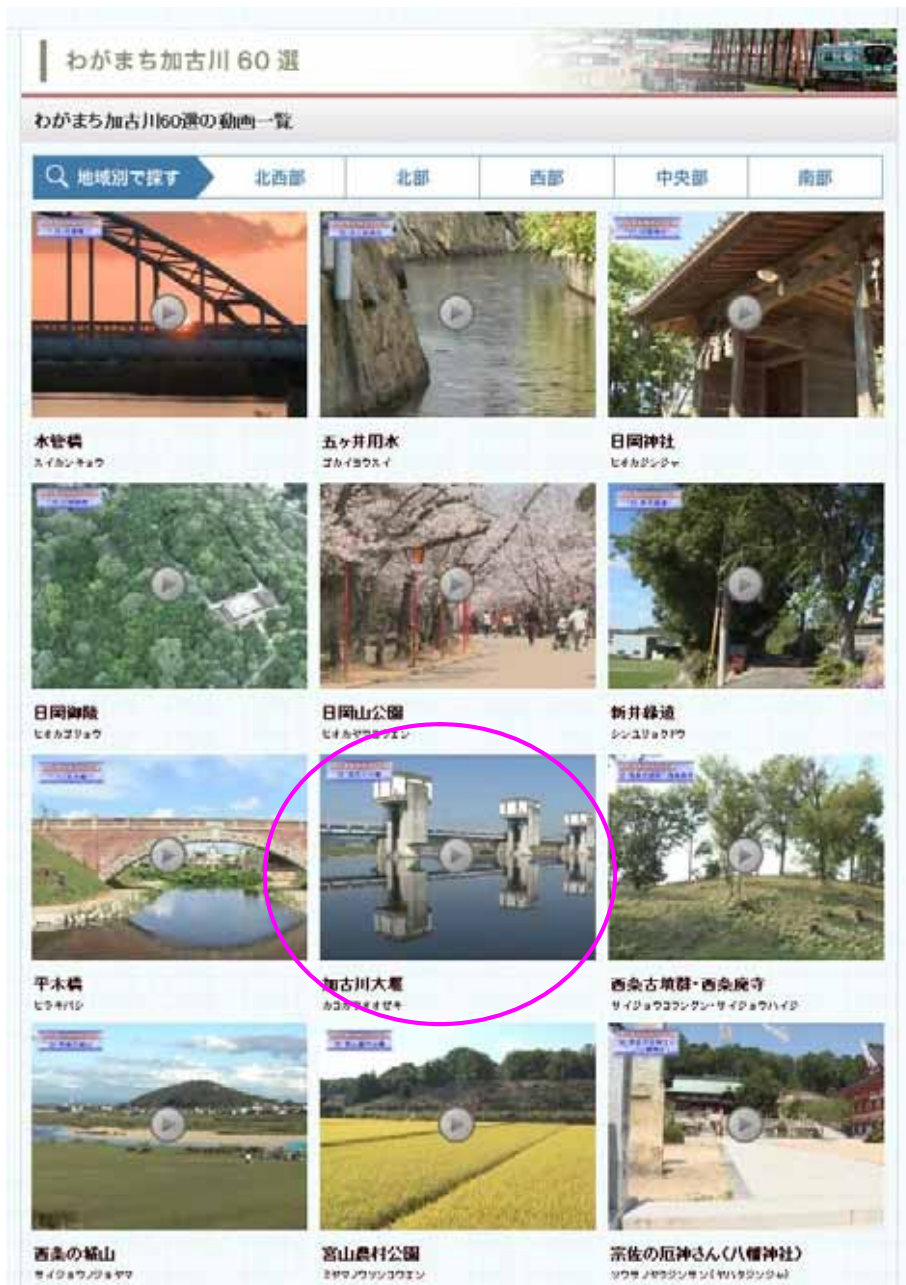
図 7.3-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進に関する計画(総合計画より転記)

(出典:資料 7-5)

(2) わがまち加古川 60 選

加古川市のホームページでは、加古川市民が選ぶおすすめの名所を紹介しており、この中に「加古川大堰」が紹介されている（加古川市制 60 周年記念（平成 22 年 6 月）にあわせ、これまでの 50 選に 10 件を加えて計 60 箇所を選定）。

ホームページ(加古川観光協会: <http://kako-navi.jp/>)での紹介の様子を以下に示す。



以下、紹介文

一級河川「加古川」は流域面積 1,730km<sup>2</sup>、幹川流路延長 96km の県下最大の川で、8 市 17 町をうるおしています。大堰は長さ 422.5m で、加古川の左岸八幡町から右岸上荘町に渡っています。治水と水需要に対処するため、9 年の歳月を経て平成元年 3 月に完成しました。大堰上流の水面を利用して、レガッタの大会など各種行事が行われています。左岸にある大堰の事務所（建設省大堰詰所）の南側には「大堰記念公園」があり、加古川の流れを望む憩いの空間となっています。

図 7.3-3 加古川観光協会ホームページ「わがまち加古川 60 選」における加古川大堰の紹介  
(出典:資料 7-4)



(3) 地域における堰の位置づけに関する整理

加古川大堰が位置する加古川市では、市の基本方針を「ひと・まち・自然がきらめく清流文化都市 加古川」として、加古川と共生する都市計画を策定している。

この中で、加古川大堰及び貯水池について、将来においても災害に強い水源としての位置づけや漕艇利用を中心とするスポーツ・レクリエーション利用の拠点としての位置づけが述べられている。

加古川大堰は、日常の管理を通じ地域への重要な水供給源として機能するだけでなく、河川敷や湖面など地域の憩いの場、交流の場としての役割も担っている。

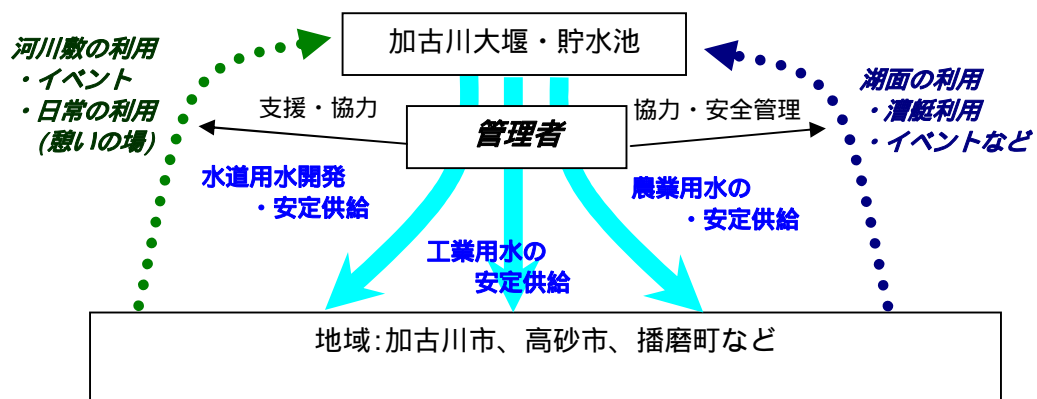


図 7.3-4 地域における加古川大堰の位置づけ

## 7.3.2 地域と堰管理者の関わり

## (1) イベントの開催・協力

加古川大堰の貯水池では、毎年多くの漕艇のイベントが開催されている。平成23年の実施状況は表7.3-1に示すとおりである。

「加古川市民レガッタ」や学生の選手権大会でもある「加古川レガッタ」などが開催されているが、平成23年は3月に発生した東日本大震災の影響により、大会の中止・順延があった。

堰管理者は、イベント会場を提供するだけでなく、運営協力、安全管理などを行い、主催者や地域との連携を図っている。

表7.3-1 加古川大堰貯水池を利用したイベント実施状況(平成23年実績)

開催日	イベント名	参加人数	主催者
4月25日	KAKOGAWAスプリングカップボート大会	中止	加古川市立漕艇センター
5月22日	加古川市長杯ボート競技大会	中止・一部延期	加古川ボート協会
6月19日	兵庫県体育大会+市長杯大会(一部)	250人	兵庫県ボート協会
8月6日~7日	加古川市民レガッタ	2,000人	加古川レガッタ実行委員会
8月27日	関西熱化学全社レガッタ大会	中止	関西熱化学(株)
9月11日	オータムカップボート大会	410人	加古川市立漕艇センター
10月1日	神戸製鋼親睦レガッタ大会	230人	神戸製鋼労働組合
11月4日~6日	加古川レガッタ (関西学生秋季選手権)	2,100人	加古川レガッタ実行委員会
12月23日	第23回加古川マラソン	4,778人	兵庫県陸上競技協会など

また、毎年夏期(7月)には、国土交通省姫路河川国道事務所が主催者となって、「河川愛護月間」「川の日」「森と湖に親しむ旬間」などのイベントを開催し、地域との交流を図るなど、地域に向けたイベント活動を積極的に実施している。

## (2) 見学会の実施

地域の小学校では、総合学習の一環で加古川大堰の見学を取り入れているところが多く、学校での来訪がある(図7.3-5)。

図7.3-5に加古川大堰の見学者数の推移を示した。毎年1,000人を超える見学者が訪れており、平成23年には21団体、計1,539人の見学があった。

加古川大堰では、見学者の学年に応じて、「利水・治水」としての役割や機能、地域における位置づけなどをわかりやすく説明するとともに、「水の大切さ」「環境の大切さ」について学ぶ場を提供している。

学校からは図7.3-7に示すような感謝の便りが多く届き、学校などの教育機関と堰管理者との連携により、重要な総合学習の場と機会として地域に貢献している。

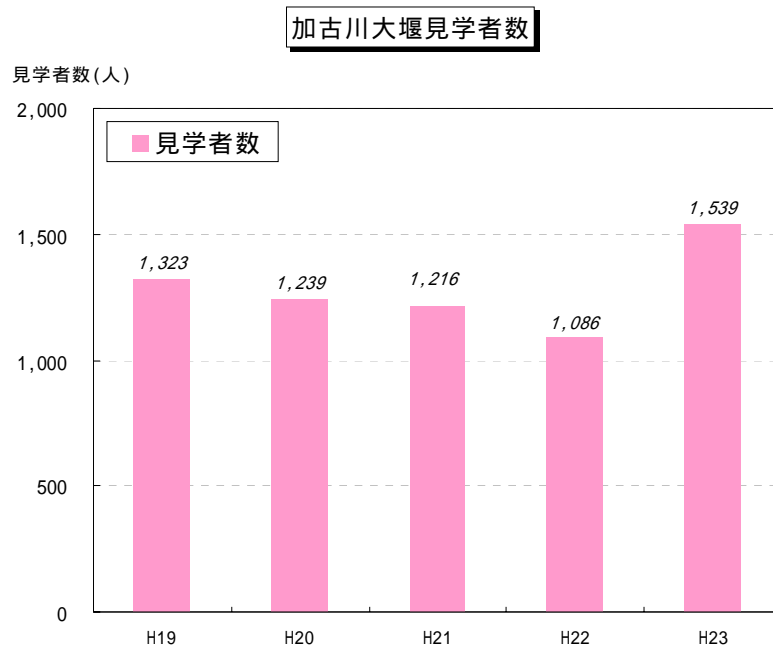


図7.3-5 加古川大堰の見学者数の推移(平成19年~平成23年)



図 7.3-6(1) 加古川大堰見学会の様子



図 7.3-6(2) 加古川大堰見学会の様子



図 7.3-7 加古川大堰に届いた学校からの感謝の「便り」



(3) 地域への情報提供

国土交通省姫路河川国道事務所では、パンフレット、ダムカードのほか、インターネットを活用し、地域住民や来訪者に向けた情報提供を行っている。

加古川大堰の役割や、重要性についての情報、堰周辺の環境などの状況についてわかりやすく解説し、一般の人でも易しく学べる工夫をしている。

インターネットでは、姫路河川国道事務所 HP において、加古川大堰や加古川に架かる橋梁について紹介を行っている。

ダムカードは平成 24 年 10 月現在、全国 250 以上のダム、堰で作成されている。加古川大堰では平成 22 年 2 月に発行が始まり、平成 22 年度に 150 枚、23 年度に 156 枚の計 306 枚が配布されている。ダムカードの受領記録によると、北海道や九州など全国各地からの来訪者があることがわかる。

**【パンフレット】**  
加古川大堰の役割や周辺の状況についてわかりやすく解説している。

13. 加古川大堰及び管理橋 (平成元年完成 延長422.5m)

**【ダムカード】**  
加古川大堰の緒元のほか、ランダム情報(堰利用等)、堰建設にあたってのこだわり技術が記載されている。

**【インターネット】**  
姫路河川国道事務所HPにおいて、河川管理施設(橋梁、堰)の一つとして加古川大堰の紹介を行っている。

**DAM-DATA**

所在地	左岸 兵庫県加古川市八幡町中西 右岸 兵庫県加古川市上町東
河名	加古川水系加古川
形式	可動式
ゲート	主ゲート×6門 調整ゲート×2門(上段) 調整ゲート×2門 魚道ゲート×2門
堰高・堰頂長	5.0m・422.5m
貯水容量	1.96万m <sup>3</sup>
管理者	国土交通省
建設/完成年	1981年/1989年

URL: 河川管理施設 http://www.kkr.mhl.go.jp/river/

**ランダム情報**  
加古川大堰の湛水面は日本運船協会公認コース8級になっており関西学生秋季選手権レガッタ大会が開かれるなど市民に親しまれています。

**こだわり技術**  
加古川大堰の魚道ゲートは従来が固定の180°転動式の起伏ゲートで、湛上・降下に合わせた対応ができ、非常に難しい構造となっています。

**加古川大堰** FNWI

MB

H22年2月発行  
《H22.4～H24.3で306枚配布》

図 7.3-8 パンフレット・インターネット・ダムカードでの情報提供

(出典:資料 7-8)

(4) 記念イベントの開催

加古川大堰の完成 20 年を記念し、地域の方々にこれまでの管理報告を行うとともに、今後、地域の財産としてより一層大堰に対する関心を高めて頂く機会として参加型の学習の場を計画、平成 20 年 7 月 26 日に開催した。

開催にあたっては、広報に対する目的意識やその効果、今後の影響を十分に検討しながら計画立案を行い、費用をかけなくても十分に効果を得られるよう職員自らで計画・運営を行い、手作りイベントを実施することとした。

記念イベントの開催状況は以下の通りである。

- 対象者** ……加古川大堰を知らない世代(小学生)
- 発信内容** ……地域の安心した生活に必要な加古川大堰の役割
- 提供方法** ……社会学習で大堰を「知る」「学ぶ」フィールド提供
- 達成目的** ……加古川大堰に対する関心の意識形成  
管理(日常・洪水)に対する理解度の向上

図 7.3-9 イベントの取り組み目標

表 7.3-2 「加古川大堰 20 周年感謝のつどい」プログラム

プログラム	主な出席者	伝達内容	期待効果
<b>第①部</b> <b>【加古川大堰記念報告会】</b> 1. 開会の挨拶 2. オープニングセレモニー 3. 式辞の挨拶 4. 祝辞 5. 来賓紹介 6. 加古川大堰管理報告 7. 小学生からの感謝の言葉 8. 閉会の挨拶	堰管理者 利水自治体 利水土地改良区 教育関係者 自治会 小学生 等	加古川大堰建設経緯 加古川大堰の役割 加古川大堰の効果 協力関係者への感謝 関係者からの大堰への感謝	大堰の必要性やその効果を報告することで、公共の社会資本の効果は建設後も延々と発揮されることを地域住民に理解してもらう
<b>第②部</b> <b>【加古川大堰学習体験会】</b> 1. 加古川大堰学習紙芝居 2. 加古川大堰施設見学会 3. 貯水池探検ポート 4. 水質調査体験 5. レガッタデモンストレーション	小学生 小学生の保護者 教育関係者 等	加古川大堰の役割 加古川大堰設備 貯水池の有効利用 水の環境学習	子供たちが楽しみながら大堰を学習し、大堰に親しみを感じてもらおう





加古川大堰 20周年 感謝のつどい

『加古川大堰20周年感謝のつどい』は2部構成で行われました。

**第一部 加古川大堰記念報告**

まず第一部は、「加古川大堰記念報告会」として、開式後、加古川市立平荘小学校の和太鼓クラブによる勇壮な太鼓の演奏が披露され、宮武事務所長が「加古川大堰のような公共の社会資本は、工事が終わればそれで終わりというわけではなく、その効果は加古川大堰がある限り延々と発揮されます。皆様、「おとな」になりました加古川大堰をこれまで同様、大切に、暖かく、誇りをもって見守って下さいませようお願いします。」と式辞を述べました。

榎本加古川市長、登高砂市長をはじめとする主催の方による祝辞を賜った後、



式辞を述べる  
宮武事務所長



綾木河川副所長が未賣の方々に加古川大堰の建設経緯、洪水時の水位低減効果、安定的な水供給を行ってきた等20年間の管理報告を行い、最後に見学者代表として地元加古川市立上荘小学校の小学生のよるあたたかい感謝の言葉をいただいた。第一部は幕を閉じました。



オープニングセレモニー、地元小学生による迫力の演奏!!

**第二部 加古川大堰学習体験会**

第二部では、「加古川大堰学習体験会」として、地元の平荘、上荘小学校の4年生25人を招待し、職員による加古川大堰学習の紙芝居、普段一般には入ることが出来ない加古川大堰の操作室や巨大な水門ゲートの巻き上げ機の見学、水質調査体験、貯水池探検ポイントなどの体験会を行いました。

厳かな雰囲気があった第一部とは対照的に、元気な子ども達の歓声が飛び交いました。

照りつける日差しで大変暑い中にもかかわらず、約150名もの多くの地域住民の皆様に参加していただきました。

職員による手作りイベントでしたが、皆様



には好評いただき、当事務所が目標としていた加古川大堰に対する関心を深めていただけたものと思います。

この度二十歳を迎え、成人となった加古川大堰と姫路河川国道事務所は、これからも地域の方々との交流を深め、皆様の暮らしを守ってまいります。



水質調査体験の様子。加古川の水はきれいかな？



職員による紙芝居

図 7.3-10 「加古川大堰 20周年感謝のつどい」の開催状況

(5) 地域の声を反映した塗装色の変更

加古川大堰では、平成 13 年の堰柱上屋のヘアークラックや汚れに伴う外装塗装補修を行うにあたり、地域住民に対するアンケート調査（平成 14 年 7 月～8 月）を実施した。また、アンケートにより地域から寄せられた意見を踏まえるとともに、平成 15 年度に学識者（東京大学工学科篠原修教授他）や加古川市都市計画部、加古川市景観専門委員、河川管理者からなる「加古川大堰堰柱塗装検討会」を開催し、塗装色の検討を行った。

検討の目的は、加古川市における「加古川市景観まちづくり条例」の基準を考慮しつつ、大規模構造物である加古川大堰の明度、彩度が、ある程度落ち着いて周辺景観と調和したものとなるよう配慮することである。色調の選定に際しては、実際に色見本を現場の管理棟等に部分的に設置し、その調和状況を確認しながら検討を進めた。



写真-1 検討委員会開催状況



写真-2 現地視察の様様



写真-3 塗装前後の様子（左：塗装前、右：塗装後）

また、加古川大堰の魚道は、有用魚種であるアユが遡上しており、明度、色彩による忌避行動が生じないように配慮する必要があったため、姫路水族館、兵庫県内水面漁業センターとの協議を経て、景観だけでなく、アユへの影響等についても考慮したものとした。

なお、アユが忌避行動をとる色は橙色、赤色であり、色に対する反応が低い色は青紫、赤紫色で黄、緑、青色はその中間となる。「加古川大堰堰柱塗装検討会」で提案された石板色はアユの遡上には問題ないとの結論を得た。

加古川大堰本体ゲートの石板色の塗装作業は平成 21 年に完了し、引き続き管理橋等の塗り替え（砂色）作業が進められ、平成 24 年現在も進行中である。明度を抑えた色調は当初想定されたとおり落ち着いた様相を呈しており、大規模構造物でありながら周辺景観になじんだたたずまいを見せている。

(出典:資料 7-9)



## 7.4 堰周辺の状況

### 7.4.1 周辺環境整備等の状況

加古川大堰周辺では、堰の左岸側に「管理棟周辺」及び「大堰記念公園」の2箇所の周辺環境整備を実施している。

それぞれの整備状況は図7.4-1に示すとおりである。

#### (1) 管理棟周辺

管理棟周辺は、加古川下流部の流水管理の中心にふさわしい環境整備として、以下の基本方針で整備を行った。

- ・大堰の維持管理機能を損わないこと。
- ・周辺の河川、地域空間とマッチした“みどりの空間”を創出すること。
- ・季節感が感じられ、豊かな情景のある植栽計画とすること。
- ・地形変化をつけ、スケール感のある空間とすること。

ゾーニング計画にあたっては、管理棟および周辺の施設の本来の機能に十分に配慮するとともに、管理用の大型トレーラー、見学バス等の大型車両の通行ならびに調和のとれた修景が確保出来るよう配慮した。

#### (2) 大堰記念公園

大堰管理棟下流部左岸(11.6k付近)の面積約0.42haの敷地を加古川大堰記念公園として整備し、大堰事業で撤去される五ヶ井堰、上部井堰にまつわる施設、モニュメントを建設した。大堰記念公園は以下の基本方針で整備を行った。

- ・記念公園の名にふさわしい修景、植栽計画とする他、撤去される堰にまつわる事柄をイメージするモニュメントを計画する。
- ・周辺住民の日常的な利用ならびに将来の加古川大堰周辺河川緑地の中心的な部分となるよう計画する。
- ・広域的な利用を考慮して駐車スペースも計画する。

(出典:資料7-3)





図 7.4-1 加古川大堰周辺環境整備の状況

(出典:資料 7-3(:計画図)、資料 7-6(:写真))

#### 7.4.2 堰周辺の施設の利用状況

加古川大堰の上流部には、加古川をレガッタのメッカにしていこうとの目的で設置された「加古川市立漕艇センター」があり、貯水池は漕艇場として多くの利用が行われている。また、毎年12月23日には加古川マラソンが開催されている。

大堰上流部は川幅200m、水深2~5m、直線2,000m等の諸条件がボート競技に適しており、日本漕艇協会から公認コースB級(1000m×5レーン)の認定を受けていることから、市内外から多数の参加がある夏の加古川市民レガッタ、秋の加古川レガッタ(関西学生リーグ)などのイベントの拠点となっている。

加古川市立漕艇センターの利用者数の推移は図7.4-3に示すとおりであり、利用者数は平成14年以降減少、平成17年より再び増加し、平成21年に大きく減少したものの、翌年の平成22年にはV字回復し、賃艇、停泊合わせて約14,474人の利用があった。

一方、加古川マラソンの参加者数は近年のマラソンブームもあって増加傾向にあり、平成23年には4,778人が参加した。



図7.4-2 加古川マラソンの様子(平成23年12月23日)

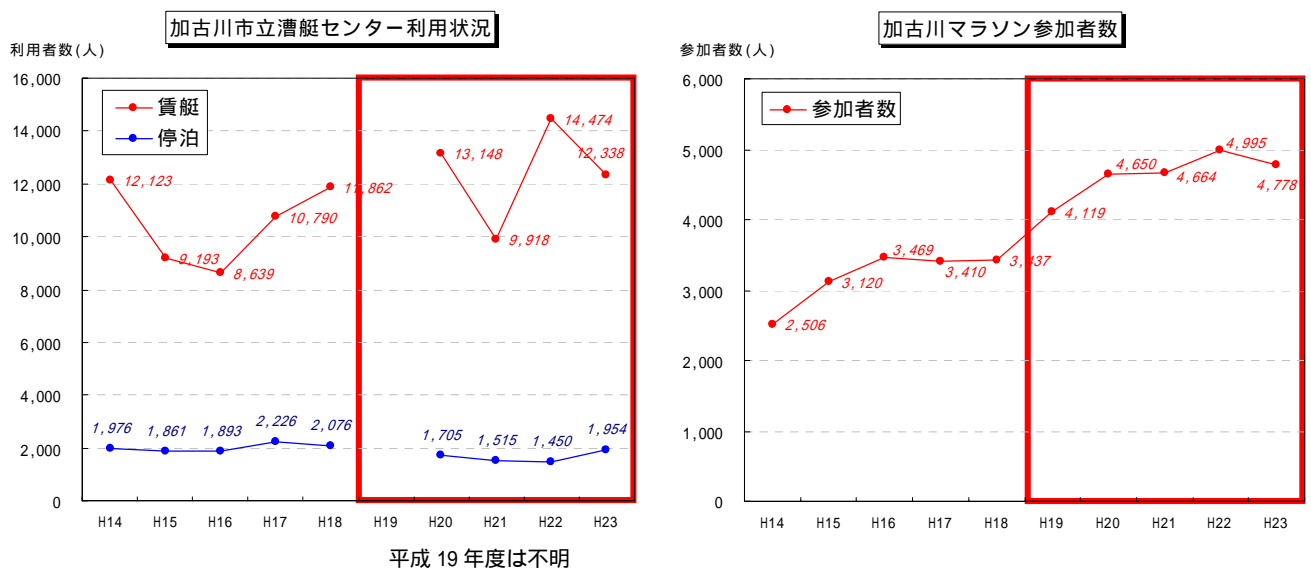


図7.4-3 加古川市立漕艇センター利用者数及び加古川マラソン参加者数の推移(平成14年~平成23年)



## 7.5 河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)結果

### 7.5.1 河川空間利用実態調査結果

加古川では、3年毎に河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)を行い、河川の利用状況を調査している。

ここでは、平成12年度、平成15年度、平成18年度、平成21年度の加古川全体の調査結果から、加古川大堰直下の河川敷(河口から10~12km区間)、及び貯水池に相当する区間(河口から12~16km区間)の結果を抽出し、利用状況を整理した。結果は図7.5-1に整理したとおりである。

なお、整理した利用者数は、年間7日間の調査日(春季3日、夏季2日、秋季1日、冬季1日)の実測値である。

加古川大堰付近の利用は、散策やスポーツ利用がメインであるが、平成15年度、平成18年度、平成21年度は、貯水池におけるスポーツ(漕艇)などの水面利用が多くなっており、加古川大堰の特徴的な利用形態が表れていると考えられる。

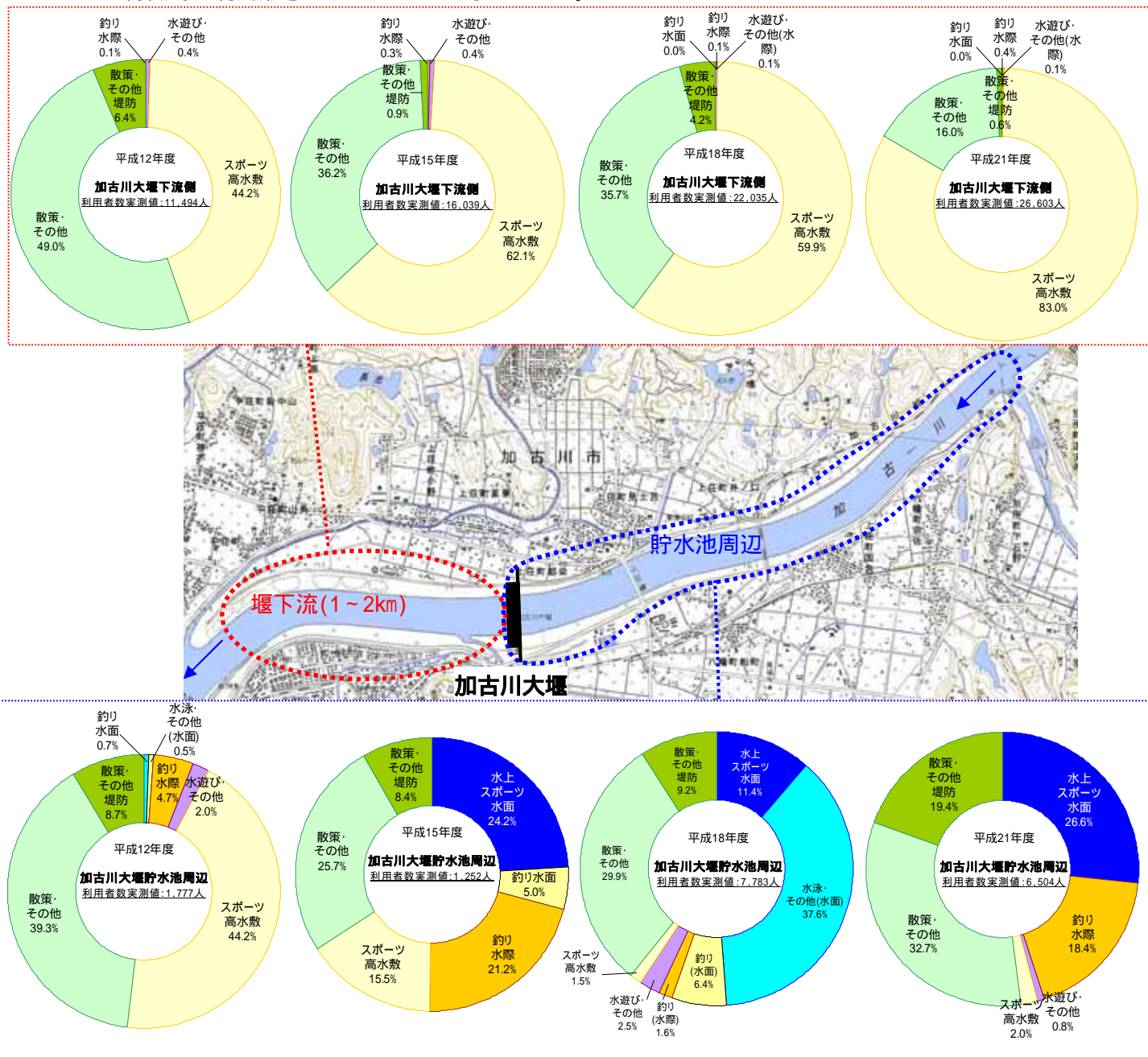


図7.5-1 加古川大堰周辺の利用状況

(出典:資料7-7より10km~12km,12~16km地点を抜粋)



### 7.5.2 川の通信簿

#### (1) 「川の通信簿」の概要

「川の通信簿」とは、河川内で利用が想定される箇所を選定し、市民と河川管理者が、現地において共同して河川の利用のしやすさを5段階で評価したもので、平成18年度に第1回目の調査を行った。

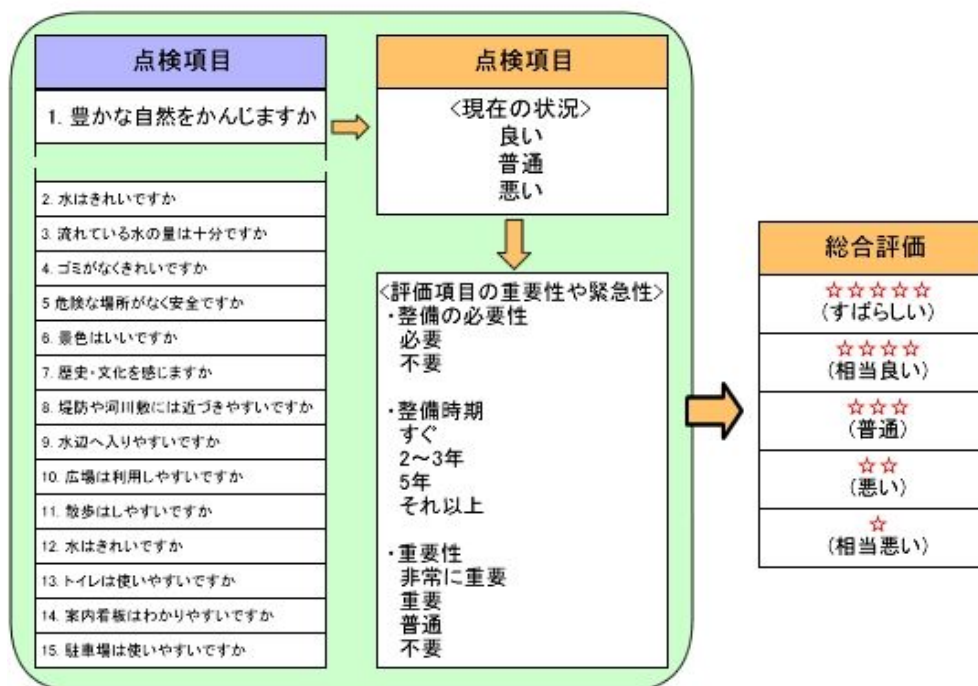
目的と点検項目は以下のとおりである。

#### 「川の通信簿」の目的

全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図る。

#### 「川の通信簿」の点検項目

15の点検項目があり、それらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行っている。(下図参照)



この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣をつけるものではない。

図 7.5-2 川の通信簿の点検項目

(出典:資料 7-8)

(2) 点検結果

加古川の川の通信簿より、図 7.5-3 に示す点検箇所から加古川大堰に近い、「加古川河川敷緑地(両荘地区)」と「加古川河川敷緑地(新神野地区)」の結果を示した。

結果はどちらも「(4つ星)」となり、「相当良い。満足感を味わえる」と評価した。

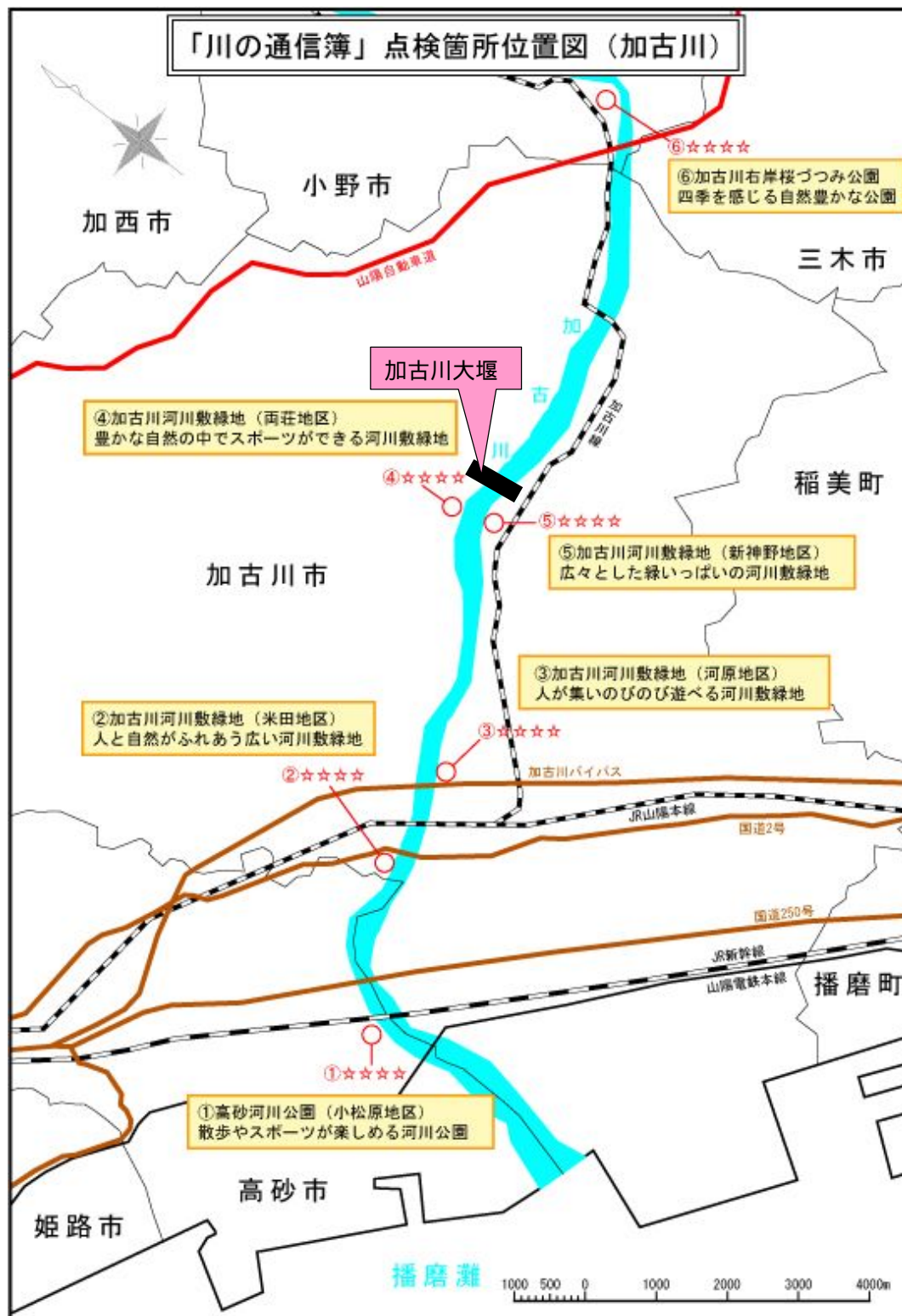


図 7.5-3 「川の通信簿」点検箇所位置

(出典:資料 7-8)

## 川の親しみやすさの成績表 川の通信簿

個所名:加古川河川敷緑地(両荘地区)

豊かな自然の中でスポーツができる河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(両荘地区)はこんな所:

河川名	1級河川加古川水系加古川右岸9.6K+145m～12.0K+186.3m
所在地	兵庫県加古川市平荘町里～上荘町都染地先
アクセス	JR神野駅より徒歩30分
面積	241,857.80㎡
管理者	加古川市
特徴	本緑地は、地理的条件から自動車で訪れる利用者が多いため駐車場の整備が十分になされています。また、野球場や陸上競技場などが整備され、休日には各種スポーツ愛好家に多く利用されています。
主な利用	散歩、野球、ソフトボール、ジョギング、バーベキュー
点検参加人数	20名



■平成21年現在の成績表 総合的な成績:

☆☆☆☆(四つ星)  
相当良い。満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要%	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか	○			35%		○		
2	水はきれいですか		○		55%		○		
3	流れている水の量は十分ですか		○		15%			○	
4	ゴミがなくきれいですか		○		60%		○		
5	危険な場所がなく安全ですか	○			20%		○		
6	景色はいいですか	○			10%			○	
7	歴史・文化を感じますか		○		15%			○	
8	堤防や河川敷口は、近づきやすいですか	○			15%			○	
9	水辺へ入りやすいですか		○		31%			○	
10	広場は利用しやすいですか	○			12%			○	
11	休憩施設や木陰は十分ですか			○	80%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			15%			○	
13	トイレは使いやすいですか		○		53%			○	
14	案内看板はわかりやすいですか		○		39%			○	
15	駐車場は使いやすいですか	○			20%			○	

良い点

悪い点

■特に良い点:

- グラウンドや陸上競技場が良く整備してある。
- 便利で利用しやすい。

■特に悪い点:

- ゴミが多く汚い。
- 利用者のマナーが悪い。
- ベンチなどの休憩施設が欲しい。

■総合コメント:

広々とした高水敷に陸上競技場や野球場などスポーツ施設が整備しており、スポーツには最適な緑地です。5つ星にするためには、木陰やベンチなどの休憩施設やトイレの整備、草刈りなどの管理を定期的に実施する必要があります。

図 7.5-4 両荘地区の「川の通信簿」

(出典:資料 7-8)



## 川の親しみやすさの成績表 川の通信簿

個所名:加古川河川敷緑地(新神野地区)

広々とした緑いっぱいの河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(新神野地区)はこんな所:

河川名	1級河川加古川水系加古川左岸9.4K~11.2K+135m
所在地	兵庫県加古川市新神野地先
アクセス	JR神野駅より徒歩20分
面積	101,439.33m <sup>2</sup>
管理者	加古川市
特徴	本緑地は、加古川を代表する河川公園で、散策等で多くの市民に利用されています。特に、犬の散歩場所として利用されることが多い公園です。
主な利用	つり、散策、ジョギング、バーベキュー
点検参加人数	22名



■平成21年現在の成績表 総合的な成績:

☆☆☆☆(四つ星)  
相当良い。満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に 重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか	○			9%			○	
2	水はきれいですか		○		18%			○	
3	流れている水の量は十分ですか		○		9%			○	
4	ゴミがなくきれいですか		○		55%		○		
5	危険な場所がなく安全ですか	○			18%			○	
6	景色は美しいですか	○			0%			○	
7	歴史・文化を感じますか		○		0%				○
8	堤防や河川敷口は、近づきやすいですか		○		23%			○	
9	水辺へ入りやすいですか			○	5%			○	
10	広場は利用しやすいですか	○			0%			○	
11	休憩施設や木陰は十分ですか			○	68%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			0%			○	
13	トイレは使いやすいですか			○	73%		○		
14	案内看板はわかりやすいですか		○		14%			○	
15	駐車場は使いやすいですか	○			9%			○	

良い点

悪い点

■特に良い点:

- 駐車場や広場が良く整備してある。
- 広く、景色がよい。
- 遊びやすい。

■特に悪い点:

- ゴミが多く汚い。
- 利用者のマナーが悪い。
- ベンチなどの休憩施設が欲しい。

■総合コメント:

広々として緑が多く、利用しやすい河川敷緑地となっています。  
5つ星にするためには、休憩施設の整備に加え、利用者のマナーを向上させる工夫が必要です。

図 7.5-5 新神野地区の「川の通信簿」

(出典:資料 7-8)

## 7.6 まとめ

### (1) 堰と周辺地域との関わりのおとめ

加古川大堰は、加古川市内の都市域に位置しながら、広大な静水面を有し、貯水池の利用や散策など、地域の日常空間として有用な場を提供している。

特に貯水池は漕艇場(公認コース)として多くの利用が行われるとともに、加古川大堰の上流部には、加古川をレガッタのメッカにしていこうとの目的で設置された「加古川市立漕艇センター」があり、地域のイベントも数多く開催されるなど、「交流の場」、「憩いの場」、「河川との触れ合いの場」として地域に貢献している。

また、地元の教育機関と連携し、小中学校の見学会を実施するなど、総合学習の場としての役割も果たしている。

### (2) 今後の方針

引き続き、地域のイベントや漕艇などの場として利用に配慮し、快適な利用が損なわれないよう維持管理を行っていく。

また、加古川大堰の役割や地域への貢献について、広く情報発信を行っていく。



## 7.7 文献リスト

表 7.7-1 「7.堰と周辺地域との関わり」に使用した文献・資料リスト

NO.	文献・資料名	発行者	発行年月	引用ページ・箇所
7-1	国勢調査結果(加古川市、高砂市の人口・世帯数・産業別就業人口)兵庫県ホームページ ( <a href="http://web.pref.hyogo.jp/ac08/ac08_1_000000288.html">http://web.pref.hyogo.jp/ac08/ac08_1_000000288.html</a> )	(兵庫県)	-	7.1.1 堰周辺地域の概況 (2)人口 (3)産業
	国勢調査結果(加古川市、高砂市の産業別就業人口) <a href="http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001038156&amp;cycode=0">http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001038156&amp;cycode=0</a>	(総務省)	-	
7-2	パンフレット「加古川」	姫路河川国道事務所	-	7.1.2 堰の立地特性 (2)周辺の観光施設(スポット)等の状況
7-3	加古川大堰工事誌	近畿地方建設局 姫路工事事務所	平成5年3月	7.2 堰事業と地域社会情勢の変遷 7.4.1 周辺環境整備等の状況
7-4	加古川観光協会ホームページ ( <a href="http://kako-navi.jp/">http://kako-navi.jp/</a> )	加古川観光協会	-	7.3.1 地域における堰の位置づけに関する整理(2)わがまち加古川 60 選
7-5	加古川市総合計画	加古川市	平成23年3月	7.3.1 地域における堰の位置づけに関する整理
7-6	パンフレット「加古川大堰電気通信施設の概要」	姫路河川国道事務所	-	7.4.1 堰周辺整備等の状況(写真のみ)
7-7	河川空間利用実態調査結果	姫路河川国道事務所	平成12年度、 平成15年度、 平成18年度、 平成21年度	7.5.1 河川空間利用実態調査結果
7-8	姫路河川国道事務所ホームページ ( <a href="http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/">http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/</a> )	姫路河川国道事務所	平成21年度	7.3.2 地域と堰管理者の関わり (3)地域への情報提供 7.5.2 川の通信簿
7-9	加古川大堰堰柱塗装検討会資料及び議事録等	姫路河川国道事務所	平成15年11月	7.3.2 地域と堰管理者の関わり (5)地域の声を反映した塗装色の変更